

平成 30 年 7 月 12 日

平成 30 年 6 月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判は不動産チラシの仕事が動いたが、学参を中心に全体的に仕事量の減少が見られ前年を下回った。

（前年比 95.6%）

巻取は先月に引続き、株主総会関連と生損保約款の動きが良く、またゲーム攻略本本文の大口など全体的に活発な動きが見られ、前年を大幅に上回った。

（前年比 114.2%）

再生上質平判は小ロット案件の仕事の減少により、前年を下回った。再生上質巻取は官公庁関連大口物件が重なり前年を大幅に上回った。

（前年比 再生上質平判 95.3% 再生上質巻取 148.2% 再生上質計 113.2%）

（前年比 印刷用紙 A 99.4%）

<A2 コート>

平判は株主総会関連、金融関連で動きがあったものの仕事量の減少が激しく、グロス紙、マット紙とも前年を下回った。

巻取は自動車関連、住宅関連で一部動きがあったものの、各種チラシ、パンフレット等の案件が減少しておりマット紙を中心に前年を下回った。

（前年比 平判 94.7% 巻取 97.9% 全体 95.4%）

<A3 コート>

学習塾、旅行、量販店関連のチラシで動きがあったものの、全体的な仕事量の減少により前年を下回った。

（前年比 平判 91.5% 巻取 103.3% 全体 98.6%）

<ノーカーボン紙>

生損保はじめ官庁関連に多少動きはあったものの、目立った動きもなく、また平判も小口ロットのみの動きで新規案件もなく、巻、平ともに前年を下回った。

（前年比 平判 91.2% 巻取 95.2%）

<上質フォーム>

前半に株主総会関連の動きが見られたが、生損保、官庁関連の目立った動きはなく、前年を下回った。

（前年比 94.7%）

<包装用紙>

特殊両更はブックカバーでの需要はあったが、封筒のカラー化による印刷用紙への移行と web の影響により昨年を下回った。

（前年比 93.2%）

軽包装は製本会社向けの雑包装用途が振るわず、昨年を下回った。

(前年比 94.5%)

片艶晒は金融関係の封筒用途と専門店の手提げで一部動きはあったが、全体を押し上げるには至らず、昨年を下回った。

(前年比 96.7%)

両更晒は専門店の手提げ用途で一部動きはあったが、金融関係の封筒が低調で昨년을大幅に下回った。

(前年比 89.2%)

純白ロールは中元ギフト、花屋向けの包装紙も落ち着き、全体的に省包装化、軟包装化の影響もあり昨年を下回った。

(前年比 97.5%)

包装紙合計で 92.0%と昨年を下回った。

#### <板紙>

夏向けの冷菓やアイス、医薬関係、化粧品等は堅調であったが、特殊板紙等の POP 関連は低調で、贈答品も例年に引続き減少傾向であり昨年をやや下回った。

(前年比 98.8%)